学校番号	１００９

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	子ども文化	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校用「子ども文化」（文部科学省）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇子どもの生活の大部分を占める遊びを通して、子どもの表現活動、児童文化財の重要性に気付き、共に製作、楽しむことが出来るようにしましょう。
・全国高等学校家庭科保育技術検定の造形表現技術 3 級、言語表現技術 4 級の合格を目指しましょう。
・積極的に子どもと関わることのできる能力と実践的な態度を育てましょう。
・エプロンシアターを制作し、演じることにより、作品の効果的な演出法を考えましょう。

２　学習の到達目標

子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財などに関する知識と技術を習得させ、子どもの表現活動に必要な児童文化財の製作を通して子ども文化の充実を図る能力と実践的な態度を育てる。
全国高等学校家庭科保育技術検定の造形表現技術３級ならびに言語表現技術の４級を取得する。
自ら考え製作したエプロンシアターを使って、子どもに伝わるようわかりやすく楽しく演じる。
お話の効用として創造力と思考力を育て人間関係を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子ども文化の意義、子どもの心身の発達に及ぼす遊びの重要性を理解し、表現活動を通して、創造性を育てていくことの大切さを考えながら自作する意欲と実践的な態度を身に付けている。	子どもを取り巻く児童文化財や施設の種類や目的を理解し、課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し表現する能力を身に付けている。	環境や子どもの興味関心を考えたおもちゃ作り、お話や人形劇を統合したエプロンシアターや、仕掛け絵本作りなど計画・実践出来る技術を身に付けている。	子どもの発達を理解しつつ、健全に社会生活を送るために心身の成長に必要な児童文化財に関する知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 授業プリント ワークシート 実習レポート 発表 自己評価・相互評価	学習状況の観察 授業プリント ワークシート 実習レポート 発表 自己評価・相互評価	学習状況の観察 授業プリント ワークシート 製作作品 発表 自己評価・相互評価	学習状況の観察 授業プリント 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
４月 ５月 ６月	第１章　子供文化とは何だろう	○子ども文化の学び方 ・全国高等学校家庭科保育検定について （造形表現技術、言語表現技術受験に向けて）	○	○		○	a: 子ども文化、保育検定に関心を持ち、内容を理解し意欲的に学習に取り組もうとしている。	授業観察 授業プリント ワークシート 調理計画 実習レポート 実技テスト 自己評価 相互評価 定期考査
		○子ども文化とは	○	○		○	b: 子ども文化を子どもの生活の中の文化活動と捉え思考を深め、適切に判断し、工夫し表現している。	
		○子ども文化を歴史から見る ・子ども文化の誕生 ・子ども文化の展開 ・子ども文化の近代・現代	○	○		○		
		＊折り紙の基本 ・折り方テキストの製本 ・作品練習、保存、提出	○	○	○	○	c: 目的にあった作品制作にあたり、計画・実践出来る技術を身に付けている。	
		＊描画のレッスン ・直線と曲線の表現 ・点の表現	○	○	○	○	d: 子ども文化の現在に至るまでの歴史及び重要性、造形表現の基本知識を身に付けている。	
		◆保育検定造形表現技術４級受験	○	○	○	○		
		＊描画と折り紙の組み合わせ表現の練習	○	○	○	○		
		◆保育検定造形表現技術３級受験	○	○	○	○		

7月 8月 9月	第2章　子供と遊び	○遊びと発達 ・遊びの魅力と特徴 ・遊びの意義と機能 ・子供の発達と遊び ○遊びの現状 ・遊びの原空間 ・遊びの実態 ○遊びと玩具 ・遊具 ・玩具 ＊制作活動①（紙コップなどを使って） ＊制作活動②（紙コップやストローなどを使って）	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 子どもの生活の大部分を占める遊びに関心を持ちその中から子どもの発達を感じとれるよう意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 遊びを活動内容や仲間関係の双方向から見ることにより子どもの発達と遊びの関係をより深く考え、工夫し表現している。 c: 限られた時間内に、楽しく目的に合った作品作りの為、計画・実践出来る技術を身に付けている。 d: 子どもの発達に応じた遊び仲間関係を理解し、作品作りの援助ができる知識を身に付けている。	授業観察 授業プリント ワークシート 調理計画 実習レポート 実技テスト 自己評価 相互評価
10月 11月 12月	第3章　子供と表現活動	○表現活動の面白さ ○造る・描く ・子供の発達と造る活動 ・子供発達と描く活動 ・飾る活動 ＊校内行事幼稚園配布ポスター制作 ○エプロンシアターについて ・エプロンシアターとは ・自分だけのエプロンシアターをつくろう ・構想を練る ・必要なキャラクター小物を考える	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 造る・描くという表現活動において意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 造る・描くという表現活動を自ら楽しむだけでなく、それらを飾ったり、創作指導ができるよう、適切に判断し、工夫し表現している。 c:ポスター、エプロンシアターは個人で、壁面制作は、グループで協力するなど、計画・実践出来る技術を身に付けている。 d: 作品の目的に合った作品作りの方法や表現方法の知識を身に付けている。	授業観察 授業プリント ワークシート 調理計画 実習レポート 実技テスト 自己評価 相互評価

1月 2月 3月		○言語表現活動 ・話す ・遊びの中の会話 （劇遊び・せりふ） ・演じる、鑑賞する ○語り・紙芝居・絵本 ○言語表現技術検定４級の説明 ◆保育検定言語表現技術４級受験 ＊エプロンシアターを演じる、鑑賞する	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 子どもの言語表現活動の発達を促すため意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 子どもの発達に応じた言語表現を深く考え、適切に判断し、工夫し表現している。 c:絵本の読み聞かせ、エプロンシアターを演じ披露するなど計画・実践出来る技術を身に付けている。 d: 子どもの言語表現活動を高める知識を身に付けている。	授業観察 授業プリント ワークシート 調理計画 実習レポート 実技テスト 自己評価 相互評価 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を
　　◆は、検定に関わる学習を示している。

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。